

西合志東小学校便り



校訓【元気いっぱい 温もりのある 誇れる 西合志東小】 第7号
令和5年6月2日 文責：有内 弘 その1

主体的、協働的活動を通して学ぶこと！

【学校教育目標】

「主体性と協働性を育み、夢の実現に
挑戦する児童の育成」～可能性を力に～

5月27日（土）令和5年度西合志東小の運動会で4つの団をリードしてくれた団長さんに作文を書いてもらいました。

そこには応援団長という大役をやり遂げた喜びや苦勞、仲間との協力や絆、そして感謝が綴られていました。まさに主体的に協働的に挑戦する姿がありました。

ぜひ読んでみてください。（画面あり）

右下の言葉★は、開会式の中で4名の団長さんが行った「児童宣誓」の言葉を紹介しています。

「団長として取り組んだこと」

6年1組 野田惇翔（緑団）

ぼくは団長となり取り組んだことがたくさんありました。

1つ目は演舞をやることです。6年生はできても5年生にはむずかしいものもあるので、どうするか悩んでみんなで決めていくことにしました。みんなで話し合うと自分では想像できないこともあったので、みんなで団結するといろんなことができる実感しました。

2つ目は苦勞したことです。ぼくが話しているときに、ちがう話をしていたり、話を聞いていない人がいたりして、注意してもなかなか止めないので困っていました。だけど（いっしょうけんめい団をリードしていると）いつの間にか話を聞くようになり、練習がスムーズに進みました。

本番では、3分41秒とタイムはよくなかったけど、みんなががんばっていたので別にタイムが悪くても最高の演舞になっていけばそれでいいと思いました。みんなががんばってくれたから、すばらしい演舞ができて、友情ができました。応援団のみなさんと支えて下さる先生方に深く感謝します。今まで本当にありがとうございました。

「団長をして感じたこと」

6年2組 前田泰知（赤団）

ぼくは団長になって感じたことがたくさんあります。

1つ目は、苦勞したこと悩んだことです。演舞を決めるときに、みんなの意見を聞きすぎて1つにまとまらなかったり、外に出て練習するときに自分（団長）の言っていることを聞いていない人がいたりして、うまく進まなかったり、みんなのことをうまくまとめきれずにばらばらになってしまい、すごく悩みました。

2つ目は、団長をして学んだことです。それは団長やリーダーシップをとるときは、ちゃんとした意思を持つことが大切だということ。理由は、おどおどしていると時間だけが過ぎ、応援団のみんなに迷惑をかけるということと、うれしいことなどがあっても浮かれないということ。理由は、タイムを計ったとき（練習）に4分ちょうどだったので、うれしくてうかれてしまっただけを痛めてしまったからです。

3つ目は、うれしかったことです。最後の運動会で団長として優勝して初めて優勝旗を触ったときには、「もう一生の運をこれで使っちゃったかな。」と思いました。

最後に、くじけそうになったときもあったけど、本当に団長になれてよかったです。今まで支えてくださった先生方、家族、応援団のみんな、ありがとうございます。

★児童宣誓★

私たちは、今日まで運動会に向けて協力して練習に取り組んできました。

今日はその成果をたくさんの方々に見ていただくことができます。

みなさんに笑顔と感動を届けられるように、精一杯走り、表現します。

支えて下さる方々への感謝を胸に、一生忘れることのない最高の運動会にします。

今日の運動会を、東小全体の心が一つになる最高の一日にすることを誓います。

西合志東小学校便り



校訓【元気いっぱい 温もりのある 誇れる 西合志東小】 第7号

令和5年6月2日 文責：有内 弘 その2

主体的、協働的活動を通して学ぶこと！

【学校教育目標】

「主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する児童の育成」～可能性を力に～

応援団は西合志東小の校訓そのままに、元気いっぱい、温もりのある、誇れる活動の1つです。子どもたちが自ら考え、アイデアを出し合って演舞をつくっていきます。練習をやりながら、意見を出し合い、修正しながら本番に向けて進んでいきました。その途中には作文にもあるように、時間に追われたり、意見がまとまらなかったり、練習が止まってしまったり様々な苦労があったことと思います。それでもどの団もそれを自分たちの力で乗り越え、協働し規定の4分という演技時間をつくり上げていきました。

「団長をして思ったこと」
6年3組 大橋華奈美(黄団)

私は団長になってたくさん思ったことがあります。

1つ目は、苦労したことです。演舞を4分に合わせるのと、練習の進め方です。演舞を私の団が決めている時、ほかの団は外で練習をしていてすごく焦りました。そして演舞が決まってもどう進めて練習していけばいいのか分かりませんでした。でもほかの団の団長や先生にアドバイスをたくさんもらい進めることができるようになりました。

2つ目は、うれしかったことです。私は中間発表で黄団のことを赤団と言いまちがえてしまいました。その時、5年生の男の子が「大丈夫だよ！！みんなおこってないよ。」と声をかけてくれてとてもうれしかったです。

3つ目は、(運動会までの間は)ほかの団の団長とはいくら仲が良い友だちでもしゃべらないと思っていました。でも練習の進め方のアドバイスをもらったりしました。そこで私はやっぱり東小はみんないい

人だなあと改めて思いました。いろいろ苦労したり焦ったりすることもありました。でもみんなのやさしさや団結力で本番4分に合わせることもできたし、小学校最後の運動会で団長になれて、最高に一生の思い出になりました。ありがとうございました。

「団長になって思ったこと」
6年4組 重山俐乃(青団)

私は団長になれてとてもうれしかったです。だけど最初は、不安でした。なぜなら演舞の流れやタイムが4分になるためには・・・と不安がたくさんありました。

でも副団長と去年の応援団の動画を見ながら話し合い、少しずつ考えて(やる内容が)決まった時は本当にうれしかったです。その演舞を教える時にまず6年生に教えて、6年生から5年生に教えるという方法をしてスムーズに進められ、それに声も出るようになり、不安な気持ちも少し安心な気持ちに変わりました。そこから全部を通して演舞を行いました。演技時間の4分に1度もならないまま中間発表の日になりました。中間発表のタイムは3分49秒でみんな落ち込んでいて、私も「このままだったら本番でも4分になれない。」と思いました。だから、また考えてたくさん練習しました。その練習の中で1度だけ4分になった時は、みんなで喜びました。そこからまた練習を何回もしました。

そして運動会当日のタイムは3分52秒で本当に残念でした。でも演舞をしている時は最高に楽しかったです。そして「みんなとがんばってきてよかったな。」と思いました。

保護者の皆様、当日はルールやマナーの遵守、観覧のご協力、そして子どもたちへの温かい応援、本当にありがとうございました。

